

予算特別委員会を設置 延べ226件の質疑

今回の議会には、平成30年度一般会計・各特別会計の予算が提出されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、各特別会計については全会一致で可決しました。



予算特別委員会での審査の様子

会計名	予算金額	前年度比	
一般会計	152億5,600万0,000円	5.6%増	
特別会計	国民健康保険	39億0,039万5,000円	17.3%減
	駅西土地区画整理事業	14億7,605万5,000円	2.1%増
	下水道事業	10億6,641万8,000円	6.4%増
	介護保険	23億1,154万9,000円	2.7%増
	後期高齢者医療	6億7,012万8,000円	7.2%増
	殿ヶ谷財産区	428万3,000円	8.3%増
	石畑財産区	1,252万1,000円	74.2%減
	箱根ヶ崎財産区	788万1,000円	6.3%増
長岡財産区	82万1,000円	35.7%増	

予算特別委員会での審査

町側からの提案を受け、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に村山正利議員、副委員長に吉野一夫議員を選出。議長代行の副議長を除く14名により、4日間わたって審査を行いました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成13名、反対1名で可決しました。9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。

反対

第7期介護保険料は基準額で月額200円値上げの5,550円となった。介護保険料・サービス利用料の町独自の軽減策や他市町でも実施している在宅寝たきりの人達に手厚い支援策を検討するべき。

少子化対策を重視し、子ども医療費完全無料化の実施や町の西側地区に児童館建設を検討するべき。また、4月と7月に開園される認定こども園で保育園の待機児童対策を図るべき。

栗原地区の区画整理は、農業振興地域除外やJR新駅設置が大きな課題。12年目を迎えても組合立ち上げの目途がつかない状況の中で、見直し再検討をすべきである。

大坪 国広 議員

賛成

一般会計は、前年度比5.6%増の152億5,600万円で、特別会計を合わせた総予算額は、247億6,055万円。新庁舎建設、小・中学校屋内運動場等非構造部材耐震化工事、防災行政無線デジタル化整備工事など、建設事業の計上により、予算額が増となり、大型化した。

一方、歳入は、町税が前年比2%増の66億7,280万円。その内個人税分は18億3,422万円で0.5%減、法人税は前年度比27.8%増の5億9,417万円となる見込み。

新規事業の諸事業にも意欲的な、バランスの取れた予算案であり、高く評価するものである。

新規事業、継続事業、予算規模の大小にかかわらず、着実に執行され、町の未来を築くことを望む。

吉野 一夫 議員

討論(要旨)

pick up 4 瑞穂町国民健康保険税額が増額に

議案第5号 瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を可決

地方税法の改正および基礎課税額等の算定規定を見直すため、条例を改正するものです。

- Q 今回、所得割の改正ということで、保険料がいくら値上げになるのか。
- A 担当課が考えているのは、夫婦と子ども1人で所得が200万円の家庭で約8,000円。所得に0.4%を掛けていただければ、その金額となる。
- Q 今回の広域化によって、都は6年間で79億円、30年度はその中で14億円の財政支援を行うと報道されたが。
- A 都は激変緩和措置を今後6年間で行う。緩和の金額は市町村ごとに予定額が示され、町ではこの措置が2年程度位しか受けられないのではと認識している。



pick up 5 瑞穂町介護保険料が増額に

議案第10号 瑞穂町介護保険条例の一部を改正する条例を可決

介護保険法の改正および介護保険料改定等のため、条例を改正するものです。

- Q 第1号保険者(65歳以上)の介護保険料の分担割合が今まで22%だったのが、どう変わるのか。
- A 第1号保険者の保険料負担が1%上がって、23%となる。第2号保険者(40歳~64歳)は28%から27%になる。
- Q 基準額(第5段階)で6万4,200円から6万6,600円に。年間2,400円、1か月に200円値上げになる。第1段階から第14段階の推定人数と割合は。

第1段階	1,570人	17.0%
第2段階	573人	6.2%
第3段階	545人	5.9%
第4段階	1,519人	16.5%
第5段階	1,141人	12.4%
第6段階	1,235人	13.4%
第7段階	1,337人	14.5%
第8段階	605人	6.6%
第9段階	234人	2.6%
第10段階	189人	2.1%
第11段階	87人	0.9%
第12段階	47人	0.5%
第13段階	55人	0.6%
第14段階	74人	0.8%

となっている。

